

# 読書の芽

今月の特集展示テーマ

「受賞作を読む」



成田図書館だより 読書の芽

2022年1月号（通巻10号）

杉並区立成田図書館（杉並区成田東3-28-5）

電話：03-3317-0341



## 今の特集 「受賞作を読む」

次回第166回の芥川賞・直木賞が1月19日に決定されます。そこで今月は、芥川賞と直木賞のこれまでの受賞作を集めました。寒い季節、心ひかれた作品を読んでおうち時間をすごしてみたいかでしょうか。

### 『宝島 HERO's ISLAND』 913.6 シン

著者／真藤順丈 出版社／講談社  
ISBN／978-4-06-511863-4

思わぬ戦果と共に、英雄と呼ばれたオンちゃんが消えた。幼馴染の3人は警察、テロリスト、教師となって英雄を追う。オンちゃんはどこへ行ったのか？ 思わぬ戦果とは？ 沖縄で起こった事件をもとに、現代にまで残る日本の問題を題材に、ミステリー要素も加えて激動の戦後を描く。



### 『コンビニ人間』 BGM

著者／村田沙耶香 出版社／文藝春秋  
ISBN／978-4-16-791130-0

古倉恵子、36歳、未婚。コンビニバイト歴18年目。幼稚園の頃から少し奇妙がられる子どもだった。それは高校を卒業しても変わらなかったが、大学1年の時に始めたコンビニのバイトで、マニュアル通りに動くことによって「世界の正常な部品」としての「コンビニ人間」となり… 第155回芥川賞受賞作。



### 『ポトスライムの舟』 913.6 ツム

著者／津村記久子 出版社／講談社  
ISBN／978-4-06-215287-7

上司からのハラスメントが原因で会社を辞め、今は工場で「時間を金で売っているような気持ち」で働いている主人公。世界一周旅行の費用163万円が自分の年収と同じであることに気づきます。「貯金しよう」と決めると、久しぶりに生きている気分になり…。慎ましく生きる女性の姿が描かれています。



## 1月のスポット展示紹介

### ～百年たったら～

SF 古典の世界は現在の私たちにとって新しい部分もあり、どこかで知っている部分もある作品群です。いつの時代にも通じる感覚や、いつか訪れるかもしれない未来への希望を見せてくれます。それらを読むことで私たちは自分らしい人生を描き出すことができるかもしれません。

### 『幼年期の終わり』 光文社古典新訳文庫 BRク

【著者】クラーク 【訳者】池田真紀子  
【出版社】光文社  
【ISBN】978-4-334-75144-9



人類よりもはるかに進化している異星人オーヴァーロードの到来によって、人類は新たな段階へと進んでいきます。その進化によって起こる変化の中で人類は多くの問題と向き合っていきます。戦争、宗教、伝統、社会構造、家族の在り方。異星人の目的は何なのか、果たして人類はどうなるのか。

### 『神曲』 971タ

【編者】ダンテ 【訳者】平川祐弘  
【出版社】河出書房新社  
【ISBN】4-309-20186-5

### 『神と科学は共存できるか？』 467ク

【著者】スティーヴン・ジェイ・グールド  
【訳者】狩野秀之 古谷圭一  
【出版社】日経BP社  
【ISBN】978-4-8222-4572-6

### 『ツアラトウストラ 上・下』

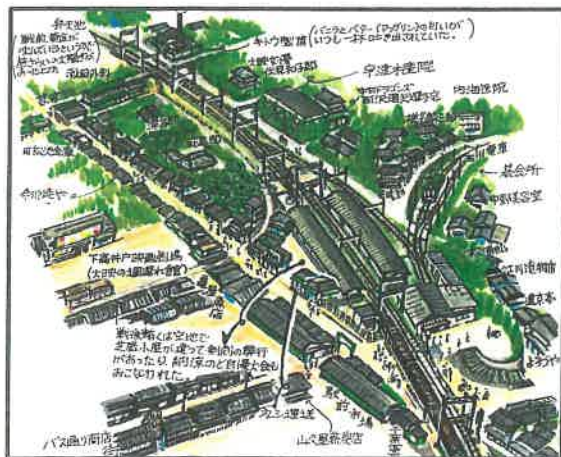
光文社古典新訳文庫 BY三  
【著者】ニーチェ 【訳者】丘沢静也  
【出版社】光文社  
【ISBN】978-4-334-75217-0  
【ISBN】978-4-334-75222-4

### 『リドリリー・スコット』 778.2 ス

【編者】佐野亨  
【出版社】辰巳出版  
【ISBN】978-4-7778-2672-8

# 【街角博物館】花いそさんの記憶画展

—昭和20～30年代の下高井戸の生活風景—



地元で商売を営みながら、街の変遷を見守ってきた人がいます。下高井戸の生花店「花いそ」の店主は、約30年にわたってその様子をコラム付きのイラストとして書き溜めてきました。戦中・戦後の復興期から高度成長期を経て大きく様変わりしていった下高井戸の街を描いた花いそさんのイラストの数々をご紹介します。

本展は2021年5月に杉並区立郷土博物館分館で行った「花いそさんの記憶画展」の抜粋版です。

- 期間：10/22(金)～11/17(水) 空襲・終戦後の風景  
11/19(金)～12/15(水) 甲州街道の今昔  
12/17(金)～1/19(水) 下高井戸のにぎわい  
2022/1/21(金)～2/16(水) 花いそさんのお気に入り(くるま編)  
2/18(金)～3/16(水) 花いそさんのお気に入り(野球編)

場所：成田図書館 入口展示スペース

実施団体：NPO法人すぎなみムーサ



作者 芹沢政一さん  
昭和14年生まれ。下高井戸の生花店「花いそ」の三代目店主。変わりゆく下高井戸の風景を残そうと、多忙な家業の傍ら記憶画を多数制作しています。

※本展では、写真や記録文などだけでは伝えきれない当時の風景や生活の様子を記憶をもとに描いたものを「記憶画」と表現しています。

NPO法人すぎなみムーサは、杉並区立郷土博物館(本館)古民家での受託業務のほか、区内の史跡をめぐるガイドつきウォーキングツアーや歴史・文化を独自調査しての展示活動、古民家でのイベントなどを行っています。

info.suginamimusa@gmail.com

FAX:03-3310-3243

<https://member.sugi-chiiki.com/172/>



問い合わせ：杉並区立成田図書館

成田東3-28-5  
03-3317-0341

## 新着図書紹介



### 『なるほど「色」の心理学』

心理学×物理学×色彩学の研究でわかった!』 141.2ト

著者/都外川八恵 出版社/総合法令出版

ISBN/978-4-86280-822-6

人が情報を得る五感のうち約8割が視覚によるものであり、その中でも多くを占めるのが色だそうです。本書は日常にある色の仕掛けや色の持つ心理効果について解説しています。色を知る事でパフォーマンス向上や自身の印象を変えるヒントが見つかるかもしれません。

### 『安全四学』

安全・安心・ウェルビーイングな社会の実現に向けて』 519ム

著者/向殿政男、北條理恵子 他 出版社/日本規格協会  
ISBN/978-4-542-30708-7

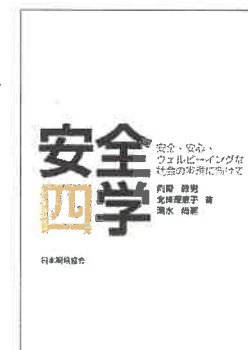
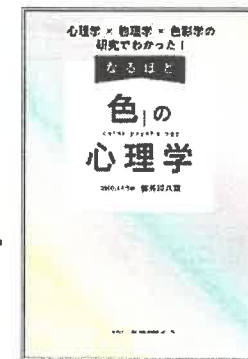
本書では安全学を、基礎安全学、社会安全学、経営安全学、建築安全学の四つに構造化して説明しています。安全学と聞くとすこし堅苦しく感じますが、その内容はどれも生活する人々すべてに関わる、とても身近で大切なものです。立場ごとに役立つ知識が分かり易く書かれているので、安全の基礎を学ぶのに最適な一冊です。

※書籍の表紙画像は、出版社の許諾を得て掲載しています。

### 図書館利用の際のお願い

発熱や風邪の症状がある等、体調がすぐれない方は、来館をお控えください。館内ではマスクの着用をお願いします。

入館時、資料利用の前後、OPAC(利用者端末機)の操作前後には、手洗いや手指の消毒をお願いします。



# 2022年 1月 成田図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
						1 休館日
2 休館日	3 休館日	4 休館日	5 ★ わらべうた 申込開始	6 休館日	7	8 おはなし会
9 *	10 *	11	12 ★	13	14	15 おはなし会
16 *	17	18	19 ★	20 休館日	21	22 おはなし会
23 * ----- 30 *	24 ----- 31	25	26 ★ わらべうたと えほんの会	27	28	29 おはなし会

緊急事態宣言等が発出された場合は、  
スケジュール変更の可能性あり

\*の日は午後5時閉館      ★の日はあかちゃんタイムあり

## 開館時間

月曜～土曜／午前9時～午後8時  
日曜・祝日／午前9時～午後5時

## 休館日

毎月の第1木曜日、第3木曜日  
年末年始(12/31～1/4)

## ♪ おはなし会(土曜)

午前11時～11時半

## ♪ 012 さいのわらべうたとえほんの会

午前10時半／午前11時半 ※申込制

## ♪ あかちゃんタイム(水曜)

午前11時～12時

